



## 災害ボランティア養成講座

社会福祉協議会には、災害時に「災害ボランティアセンター」を設置して、被災者の復旧を支援する役割があります。

本会では、過去の被災の経験から、災害時の協力を少しでも増やそうと、毎年「災害ボランティア養成講座」を実施し、災害ボランティアを行う上での心構えや、災害時に備えた研修等を行っています。

今年度は、6月18日に、まなび広場にいみ小ホールで開催し、ファイナンシャルプランナーの佐藤香名氏を講師に招き、災害時に役立つ制度や保険などについて学びました。詳しくは5ページをご覧ください。

社協は、地域福祉（助け合いの地域づくり）に取り組み団体です！



ピオーラちゃん

発行 社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷 640 番地の 1 TEL(0867)72-7306 FAX(0867)71-2088  
E-mail : syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp URL : <https://niimi-shakyo.jp/>

# 事業報告・資金収支決算報告



令和4年度事業報告及び収支決算が承認されました。その概要を報告します。

・ 寄付金収入……………	4,098,159 円	・ 補助金収入……………	83,495,396 円
・ 受託金収入……………	60,670,800 円	・ 介護保険事業収入……………	160,391,530 円
・ 事業収入……………	8,451,530 円	・ その他の事業活動収入……………	1,385,372 円

## 受託事業 67,185,316 円

新見市などから生活に困窮する方の相談支援事業や、支え合い活動の促進事業等を受託し、きめ細やかな相談、支えあいの地域づくりに取り組みました。

### ■新見市受託事業

- ◎生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業  
「新見市生活相談支援センター」において、生活や家計の管理に不安を抱える方の相談に応じ、自立した暮らしに向けた支援を実施しました。(延べ支援回数 1,503 回)
- ◎法人後見・権利擁護推進事業  
市内における成年後見制度の普及に努めるとともに、法人として成年後見制度による支援が必要な方の後見を受任し、必要な支援を行いました。(受任件数 22 件)
- ◎生活支援コーディネーター配置事業
- ◎小地域ケア会議の実施 (市内 23 地区)
- ◎地区社協等の地域組織支援・新見市版地域共生社会 地域運営組織の設立支援 (令和 4 年度 7 地区設立)
- ◎ふれあいいきいきサロンの推進 (市内 66 か所、延べ 527 回・5,305 名参加)
- ◎ピオーラカフェ (認知症カフェ) の実施 (延べ 6 回開催、86 名参加)
- ◎独居高齢者宅戸別訪問事業 (延べ 5,765 件)
- ◎無料法律相談開催 (12 回開催、相談 75 件)
- ◎福祉車両等貸出 (101 回貸出)

### ■岡山県社会福祉協議会受託事業

- ◎日常生活自立支援事業  
判断能力が不十分な方の金銭管理、各種手続きの支援を行いました。(契約者数 28 名)
- ◎生活福祉資金貸付事業  
低所得者、障がい者、高齢者の方で、他から援助を受けることができない方への生活に必要な相談支援を行いました。(相談件数 10 件)  
新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により減収した方に、貸付相談を行いました。(貸付決定件数 11 件)



ピオーラカフェの様子

前期末支払資金残高 (前期末繰越金) 57,187,908 円  
当期資金収支差額 (収入-支出) 8,092,875 円

当期末支払資金残高 (次年度繰越金)  
65,280,783 円

6月7日の理事会、6月23日の評議員会において、

収入の部:338,299,073円

- ・会費収入…………… 8,624,500 円
- ・共同募金配分金収入……………9,193,160 円
- ・障害福祉サービス等事業収入…1,988,626 円

支出の部:330,206,198円

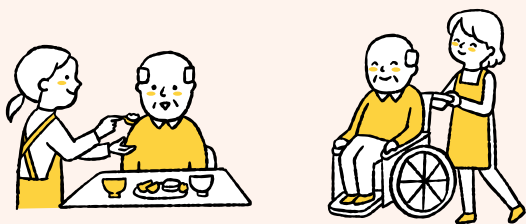
法人運営事業 88,452,749 円

本会の運営経費や、福祉団体への助成、地域福祉センターの管理費、広報紙の作成費用、福祉大会の費用などに使用しました。

介護サービス等事業 165,326,866 円

介護認定を受けた方に、在宅での生活に必要な介護サービスを提供しました。

- ◎居宅介護支援  
(ケアプラン作成等 延べ2,964件)
- ◎訪問介護  
(ホームヘルプサービス 延べ7,749回)
- ◎通所介護(デイサービス 延べ10,926回)
- ◎訪問入浴介護(延べ382回)



障がいをお持ちの方への介護サービスや、産後等に支援が必要な方の生活支援サービス、介護者交流事業を実施しました。

- ◎障がい者ホームヘルプサービス(延べ217回)
- ◎障がい者デイサービス(延べ47回)
- ◎障がい者訪問入浴サービス(延べ35回)
- ◎産後・子育て支援ヘルパー訪問(延べ62回)
- ◎介護者のつどい・くつろぎの家(延べ3回開催、53名参加)

地域福祉推進事業 9,241,267 円

多くの市民・市内企業の皆さまにご協力いただいた社協会員会費や赤い羽根共同募金配分金などを財源として、地域福祉の推進に取り組みました。

- ◎無理しない地域づくり講座  
地域福祉活動の担い手の育成を目的として、無理せず楽しく活動するためのヒントをまとめた講座を実施しました。(9名参加)
- ◎福祉委員の設置・活動支援
  - ・福祉委員の設置(740地区839名)
  - ・福祉連絡会の開催(延べ50回1,129名参加)



出前福祉教室の様子

- ◎友愛訪問事業(5,650回訪問)
- ◎歳末たすけあい訪問(1,323世帯)
- ◎災害ボランティア養成事業(養成講座30名参加)
- ◎傾聴ボランティア養成事業(養成講座20名参加、傾聴ボランティア訪問22回)
- ◎夏のボランティア体験(中高生26名が参加)
- ◎小学生ちょボラ運動(17校411名が実施)
- ◎心配ごと相談の実施(12回)
- ◎なんでも相談会の開催(2回、相談60件)



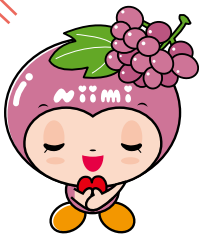
～みなさまの会費がにいみの福祉を支えています～

本会では、毎年7月に市民の皆さまや市内の企業・団体などに対して、社協会員への加入をお願いしています。

社協会員会費は、地域福祉活動を行う上での貴重な財源になるとともに、社協会員になっていただくことは、市民の皆さまが地域福祉活動に参加されることにもなります。

今年度も、ひとりでも多くの皆さまに会員にご加入いただき、地域福祉活動の推進にご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

ご理解ご協力をお願いいたします



会員種類	会費年額（一口）	内容
普通会員	1,000 円	世帯単位で加入
賛助会員	3,000 円	活動に賛同いただける個人など
特別会員	5,000 円	市内に活動拠点を持つ企業・団体など

令和4年度の会員会費の総額は **8,624,500 円** でした。この貴重な会費は、本会が行う地域福祉推進のための事業や、地区社協等市民による身近な地域活動に活用いたします。ご協力ありがとうございました。

福祉連絡会を開催しています



本会では、地域での身近な福祉課題（困りごと）に気づき、民生委員や主任児童委員、社協等につないでいただく地域のアンテナ役として約800名の市民の皆さまに福祉委員を委嘱しています。また、福祉委員の役割周知と、民生委員・児童委員等との情報交換の場として福祉連絡会を各地区で行っています。

思誠地区では5月30日に、まなび広場にいみ小ホールで福祉連絡会を開催し、福祉委員と民生委員・児童委員、思誠地区社会福祉協議会役員など163名の参加がありました。連絡会では、福祉委員の役割や活動内容の説明を行った後、思誠地区社会福祉協議会から活動の説明がありました。

本会では、福祉連絡会等を通じて高齢者や支援が必要な方への見守りの必要性を周知し、見守り・支え合える地域づくりを進めてまいります。

## 令和5年度災害ボランティア養成講座

災害時に備える、役立つ金融知識

〜リスクを知れば運命が変わる〜

6月18日に、まなび広場にいみで令和5年度災害ボランティア養成講座を新見市防災士の会と共催で開催し、災害ボランティア登録者や防災士の会会員、災害ボランティアに興味・関心のある方など50人の参加がありました。

講座では、平成30年7月豪雨災害の際に被災者支援に取り組んだファイナンシャルプランナーの佐藤香名氏から、災害時に役立つ制度や保険などについて学びました。また、本会職員による「災害ボランティアセンター」についての説明と、新見市防災士の会事務局の杉本美智子氏による防災に関する講話も行いました。参加者からは「災害時に必要になるお金について考えたことがなかったので参考になった」「地域で講座の内容を広めたいと思った」などの感想がありました。

本会では、平成30年7月豪雨災害や令和元年9月集中豪雨災害を教訓として、災害支援の体制整備に加え、市内の団体との協定締結や災害ボランティアの養成と登録を行っています。

今後本会では、いつ起こるか分からない災害に備えて、市民の皆さまや関係団体と連携した取組を進めていきます。



ファイナンシャルプランナー  
佐藤 香名 氏

- 万が一被災してしまった際の生活再建の手順や災害時には様々な救済制度があること、火災保険と地震保険の違いやしくみなどについて詳しく紹介。

日頃から様々なリスク（危険や損害）を想定し、必要な備えをしておきましょう！

- 災害時に身を守るための対応方法や便利グッズなどを紹介。

個人や家庭での備えも大切ですが、やっぱり一番大切なのは、困ったときに「助けて!」と言える地域づくり。日頃の地域活動やつながりが災害時にも役立ちます！



新見市防災士の会  
事務局 杉本 美智子 氏



## 手話奉仕員養成講座（入門課程）開講式が行われました

5月14日に、ほほえみ広場にいみで手話奉仕員養成講座（入門課程・全18回）の開講式を行い、17名の参加がありました。

この講座は、聴覚障害への理解を深め、聴覚障がい者の良き理解者として活動するボランティア（手話奉仕員）を養成するための講座で、手話であいさつや簡単な世間話ができる程度の技術を身につけることを目的としています。

この日は初日とあって参加者の皆さんは緊張した面持ちでしたが、グループに分かれて名前の表現を学ぶうちに笑顔が見られるようになり、楽しく手話を学ぶことができました。



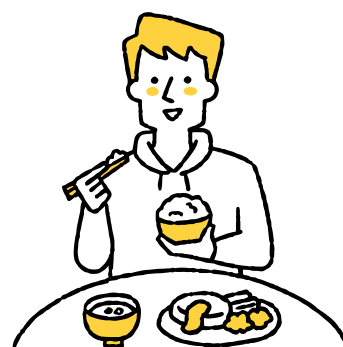
## 大学生への食料支援を行いました

様々な影響により経済的に困窮している大学生を支援するため、5月16日に、新見公立大学で食料品の配布を行いました。

配布に使用した食料品は、お米やレトルト食品などで、本会が「フードドライブ（食料寄付）」として、企業や家庭などに寄付を呼びかけ、生活に困っている方などに無償で提供しているものです。

当日は受取を希望した大学生 200 人が、次々と食料品を受け取り、「物価高で経済的に負担が増しているのが助かる」「色々な食料品があって嬉しかった。特にお米は高いのでありがたい」などの声がありました。

本会では、食料品（レトルト食品などある程度保存期間の長いもの）の寄付を随時募集しているほか、生活や仕事に関することをはじめ、暮らしにおけるあらゆる困りごとに対する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。



## 新見市生活相談支援センター

新見市生活相談支援センターでは、生活や仕事、家計に関することなど、生活上のあらゆる相談を受け付け、相談者とともに解決方法について考え、必要な支援やサービス・機関につなぐなど、相談者に寄り添った支援を行っています。

### 相談例

- ひきこもりの家族のことが心配
- 家計のやりくりにも困っている

場 所

新見市地域福祉センター  
(新見市金谷 640-1)

受付時間

9:00 ~ 17:00 (土・日曜日、祝日を除く)

電話番号

**0867-88-6588**





# ご寄付ありがとうございました。

令和5年  
4月~5月

令和5年4月1日から令和5年5月31日までに、本会本所・各支所に寄せられたご寄付について報告いたします。(敬称略・順不同)

寄せられた寄付金は各種団体助成、友愛訪問事業、ふれあいいいきサロンなどの福祉活動に有意義に活用させていただいております。

西 方 (亡母 イツコ)	新 見 (亡父 春男)	新 見 (亡子 一夫)	新 見 (亡父 秀雄)	新 見 (亡母 智登代)	新 見 (亡父 一實)	新 見 (亡母 貞江)	千屋井原 肥田 吉教	高尾 (亡夫 善一)	西懸ヤエ子	正田 (亡父 英男)	中沢 祐平	唐松 (亡父 茂)	高瀬 貴臣	上熊谷 (亡母 フヂエ)	小野 康晴	上市 (亡父 兼一)	眞壁 憲昌	金谷 (亡母 平澄枝)	三宅智恵子	井倉 (亡夫 義憲)	山本美重子																							
哲西町大野部 (亡夫 司幸)	哲西町大野部 (亡妻 美代子)	哲西町大野部 木下 隆	哲多町宮内 西村 元宏	哲多町本郷 (亡父 元二郎)	西村 正美	哲多町花木 (亡夫 武男)	真治 亘子	哲多町田淵 (亡父 博志)	西岡 治	哲多町老栄 渡邊 精三	(亡義母 鈴江 富子)	神郷下神代 大杉 勝隆	(亡父 道則)	哲多町老栄 安川 孝司	(亡母 逸恵)	大佐田治部 安松 潔	(亡父 俊雄)	大佐小阪部 柴田 明好	(亡夫 英夫)	馬塚 山本久美子	法曾 森脇 博	(亡母 静代)	西方 岡本 丈夫	(亡父 完治)	法曾 森脇 博	馬塚 山本久美子	(亡夫 英夫)	大佐小阪部 柴田 明好	(亡父 俊雄)	大佐田治部 安松 潔	(亡母 逸恵)	哲多町老栄 安川 孝司	(亡父 道則)	神郷下神代 大杉 勝隆	(亡父 茂)	唐松 高瀬 貴臣	上熊谷 (亡母 フヂエ)	小野 康晴	上市 (亡父 兼一)	眞壁 憲昌	金谷 (亡母 平澄枝)	三宅智恵子	井倉 (亡夫 義憲)	山本美重子

## 【香典返し】



フードドライブ事業へ  
食料等の寄付  
大塚英夫、岸本操、伊東朋子、山谷勝己他7名 198点

【偲び草】  
哲多町蚊家 渡邊 満江 (亡夫 昌佳)  
哲西町上神代 羽場頼三郎 (亡母 生枝)  
哲西町畑木 原田 至 (亡母 稍子)  
岡山市 小村 真吾 (亡父 豊・本所取扱)  
鳥取県米子市 山田 茂義 (亡母 好子・本所取扱)  
広島県広島市 福田 勝己 (亡母 玉枝・本所取扱)

### 各種相談窓口を開設します

**心配ごと相談**  
場所：新見市南庁舎  
7月19日(水) 9:00~12:00  
8月16日(水) 9:00~12:00

**法律相談(要予約)**  
場所：新見市地域福祉センター  
7月19日(水) 10:00~15:00  
8月16日(水) 10:00~15:00

法律相談予約先 電話：0867-72-7306  
社協 地域福祉推進課

### ピオーラカフェ開催のお知らせ

期 日：7月26日(水)  
13:30 ~ 15:30

場 所：新見市地域福祉センター

内 容：ピオーラカフェ夏祭り  
・簡単レクリエーション(射的・輪投げ等)  
・盆踊り・大学生企画コーナー など

参加費：200円(申し込み不要)

6月4日に本郷小学校グラウンドで開催された「哲多ふる里すずらんまつり」に出店し、ガラガラ抽選や輪投げ、ジュース販売などを行い、多くの地域の方や子どもたちに楽しんでいただきました。

この出店は、本会が協力する「赤い羽根共同募金運動」の一環として行ったもので、当日の収益金は、全額赤い羽根共同募金への寄付として受領しました。

赤い羽根共同募金運動は、毎年10月1日から全国一斉に行われ、地域の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられるほか、災害時にも「災害ボランティアセンター」の支援金などとして被災地支援にも役立てられます。

今後も本会は、各地区でのイベントや街頭募金などを通じて、赤い羽根共同募金への協力を呼びかけてまいりますので、ご協力をお願いします。



あなたの地域でも立ち上げませんか

## ふれあいいきいきサロン

ふれあいいきいきサロン（以下、「サロン」）は、身近な場所で定期的集い、茶話会や創作活動、講師を招いてみんなで体を動かしたり...♪と、楽しみながら地域の絆を深め、介護予防にもつながる集いの場です。

**活動拠点整備の助成をします!!**

令和5年度に立ち上がる新規サロン（5年以上の継続が見込めるサロン）を対象に、参加者が安全で使いやすい場所になるよう、拠点整備に関する助成を行います。

	助成内容	対象となるもの
環境整備費	かかった費用の8割以内を助成（上限5万円）	▶取り付け工事の必要なもの 例) 手すり、スロープ、和式トイレから洋式トイレへの改修、エアコンの設置 ※新見市の補助金の対象となるもの及び個人宅の整備は対象外
備品整備費	かかった費用の8割以内を助成（上限3万円）	▶取り付け工事の必要がないもの 例) 座椅子、机、電気ポット、簡易式洋式トイレなどの購入

**立ち上げたいけれど何から始めたらいいかわからない、サロンってどんなことをするのか、**など、ご不明な点は、**お気軽にお問い合わせください。**

また、本会ではどなたでも借りられるレクリエーション用品を取り揃えていますので、ぜひご活用ください。

申請・お問い合わせ先▶社協 地域福祉推進課 (☎0867-72-7306)

